

令和7年度 今治市宮窪カレイ山展望公園指定管理者モニタリング結果

施設名	今治市宮窪カレイ山展望公園
所在地	今治市宮窪町宮窪4703番地
指定管理者	名 称 NPO法人能島の里 代表者 理事長 村上 利雄 住 所 今治市宮窪町宮窪4703番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者への声かけ、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。 その後、指定管理業務の課題ごとに、指定管理者による自己評価及び市による評価結果を取りまとめました。
担当部課 (問合せ先)	総合政策部 交流振興局 観光課 TEL : 0898-36-1541 E-mail : kankou@imabari-city.jp

評価内容

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
総則	B	施設の設置目的である「産業と観光の振興及び市民生活に安らぎとふれあいを与えとともに地域間交流を図る」を達成するため、適切な管理運営に努めた。	B	事業の履行はおおむね適正に行われている。今後も施設の設置目的や管理運営の基本方針を理解し、利用者にとってのサービス向上に向け、利用者の声を施設運営に取り入れながら、積極的に業務に取り組んでいただきたい。
利用状況	B	前年度に引き続き入園者数およびキャンプ場利用客数が減少となってしまった。今後は地域資源活用や新たな価値創出を軸に温故知新な戦略を立てて、利用者の増加および顧客満足度の向上に取り組んでいきたい。	B	令和6年度と比べ、入園者数およびキャンプ場利用客が増加とならなかったことは残念である。今後、各種イベントの実施など、利用者増となる取組を期待する。
事業収支	B	今年度は、会員間で協力して作業を実施することで経費削減に努めた結果、収支については黒字となった。今後は、入園者数やキャンプ場利用者数の増加を図るとともに、収入の確保に向けた取組を進め、継続的に安定した収支状況を維持できるよう努めていきたい。	B	経費節減等により収支が黒字となったことは評価できる。今後は、さらなる利用促進により収入の確保を図るとともに、継続的な収支の健全化に努めていただきたい。
管理運営体制	A	職員間での連携は円滑に行われており、必要な情報共有についても遅滞なく実施することができている。また、定期的に内部研修を実施し、施設の管理運営に必要な知識や技術の習得に努めた。一方で、会員の高齢化が進んでいることから、今後は世代交代を見据えた人材の確保・育成が課題となっており、来年度以降の運営体制の維持に向けた取組が必要である。	B	職員数が少ないながらも、適正な管理運営ができるよう人員配置ができていた点は評価できる。今後もお互いの情報や知識を共有し、また若いスタッフの力を最大限に発揮し、助け合いながら施設運営に努めていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
管理運営業務	B	定期的に作業日を設け、力を合わせて管理に取り組んでおり、展望台およびキャンプ場横に設置されているトイレについても適宜清掃を行った。今後は、基本である清掃や植栽管理について、今一度管理方法を見直し、適切な対応を行いたい。	B	集客力を上げるための美観上の工夫等、適切な施設管理ができている。ウェブメディア等で紹介されることも見受けられるため、今後も適切に管理運営を実施し、施設の魅力向上に努めていただきたい。
利用業務	B	ホームページやSNSを活用した広報活動、植栽管理等カレイ山展望公園内の美化などを行った。地域教育団体による自然教育のフィールドとしてや、大学教授の石材研究機関の交流や視察として活用されたこともあり、キャンプも含めてカレイ山の魅力向上の機運が高まりつつある。	B	利用者への対応は適切に行われている。今後も、SNSなどを積極的に活用し、効果的なPRを行うとともに、施設の利用者増加につながる取組を行っていただきたい。
その他業務	B	その他業務に関しては、駐車場管理業務に注力することによって、来場する車両の安全確保および円滑な誘導に配慮した。今後も事故・災害を想定し、的確な予防対策を講じたい。また、公園に至る経路の美化清掃は困難な活動だが、視界が良くなり交通事故軽減につながるため積極的にやっていきたい。	B	利用者の事故予防に向けた取組に力を入れており、サービスの向上を図っている点は評価できる。引き続き、現地利用客のニーズを的確にとらえ、魅力向上に取り組んでいただきたい。
修繕業務	B	利用者が快適に施設を利用できるよう、会員が協力し、スコップや鋸、草刈機を用いてキャンプサイトの整地を実施した。今後も修繕等が必要となった際には、会員が対応可能なものについては引き続き協力して対応し、経費の節減に努めていく。また、修繕箇所の優先順位を考慮しながら計画的に対応するとともに、利用者の利便性及び安全性の確保に配慮した適切な施設の維持管理に努めたい。	B	今年度はキャンプ場の整地を実施したとのことであり、今後も利用者への影響度等を踏まえて優先順位を付けながら修繕を実施し、利用者が安全・安心に施設を利用できるよう努めていただきたい。
備品管理業務	B	今年度は備品の購入実績はなかったものの、既存備品について適切な管理を行った。引き続き備品の適正な管理に努めるとともに、故障等が発生した場合における利用者への影響を考慮し、必要に応じて備品の更新を行うなど、施設運営に支障を来さないよう適切な対応に努めたい。	B	今年度は新規備品の購入はなかったが、引き続き備品の適正な管理に努めるとともに、必要に応じて計画的かつ効率的な更新を行っていただきたい。
行政財産の目的外使用許可手続業務	A	地元特産品販売のための市場は、駐車場のスペースを侵食しないよう配慮して配置している。石の腰かけは展望台に上がることのできない高齢の利用者の方をはじめ、カップル、山頂までヒルクライムで訪れるサイクリストの休憩所としてなど、多くの利用者に活用していただけるスポットとなっており、観光地化に大いに役立っている。	A	地形の特色を生かした施設を設置しており、特色のある場所の提供を行っている。また申請手続き、運営面において適切な処理ができおり、利用者へのサービス向上が図られているため、今後も継続して取り組んでいただきたい。
自主事業	A	キャンプ利用者数は減少したものの、来場者満足度の向上や施設滞在時間の延長につながる取組を実施することができた。今後は、自主事業による子ども向けイベント等の開催を検討し、カレイ山の魅力向上および認知度向上に努めていく。また、台湾の石材・文化研究機関の来訪に合わせ、周辺の石材関連事業者や飲食店と連携して石文化体験ツアーを実施し、多くの来場者に地域資源の魅力を発信することができた。	B	当初計画していた物品販売・飲食提供等が実施に至らなかったことは残念である。今後は、実施可能な事業内容を検討し、施設の魅力向上及び利用者の増加につながる取組に努めていただきたい。
地域団体との連携	A	鵜島は能島と並んでカレイ山展望公園から望む景観には欠かせない要素の一つであり、鵜島の保全および魅力アップのために、協働で活動を毎年行っている。今年度は鵜島住民4名と能島の里会員11名の計15名で清掃を実施した。	B	地域団体と連携した取組を実施している点は評価できる。カレイ山展望公園から鵜島を望む景観を守るため、今後も各団体との連携による清掃等協働活動を継続し、広域での地域活性化を図っていただきたい。

課題	指定管理者自己評価		市による評価	
利用者アンケート	B	キャンプ料金集金時や、来場された観光客に対して、口頭にてアンケートを実施した。今後は、アンケートフォームのQRコードの設置を検討していくほか、質問内容についても回答者の負担を軽減しつつ、実態把握に資する内容となるよう検討していきたい。またアンケートフォームの設置に合わせて、吸い上げられた潜在ニーズや課題への対応を検討していきたい。	B	アンケートの実施は、利用者の率直な意見や要望を把握することができる重要な手段であるため、今後も継続して実施していただきたい。また、アンケートの内容や回答結果について市と共有を図るとともに、より効果的な設問や実施方法について検討を重ね、利用者ニーズの把握に努めていただきたい。
事故・苦情	A	駐車場の管理を適切に実施しており、事故の発生や利用者からの通報等はなかった。今後も事故の未然防止に努め、適切な管理運営を継続するとともに、利用者から寄せられた意見や要望については、迅速かつ適切な対応に努めたい。	B	事故の発生はなく、利用者の安全確保に配慮した適切な管理運営が行われている点は評価できる。今後も利用者の安全・安心を第一に考えた運営に努めるとともに、設備については日常点検を徹底し、不具合の早期発見及び予防的な修繕に取り組んでいただきたい。また、利用者から寄せられた意見については職員間で共有し、適切かつ迅速な対応に努めていただきたい。
指定管理者の経営状態			会計帳簿等については法令及び定款に従い、適正に作成されていると認められる。指定管理者の経営状況についても事業収支一覽や経営状況分析指標等から判断した限り、指定管理を安定して行う能力を有していると認められる。	

総 合 コ メ ン ト (市)
指定管理者は、カレイ山展望公園の魅力が十分に発揮できるよう、施設の管理・運営をおおむね適正に実施していると評価できる。近年、一時的に高まったアウトドア需要は徐々に落ち着きを見せているものの、自然を楽しむレジャーへの関心は依然として根強く残っている。こうした傾向を踏まえ、新たな付加価値が創出できるような取組を実施するとともに、アンケート結果を分析しながら、利用者に対するより良いサービスが提供できる環境を整えていただきたい。また、今後はさらに新たな客層を取り込めるイベントを企画し、施設の積極的な利用を図るとともに、利用者数の増加及び収益の確保に資する事業の実施に努めていただきたい。